

自然科学のとびら 51～100号 総タイトル

50号記念号では、それまでに発行されたタイトルをまとめて再掲載しました。今号では、その続きの51号以降のタイトルを再掲載します。これまでに掲載してきた記事で、改めて気になるものはありますか？

バックナンバーは、当館ウェブサイトにてすべて掲載しているほか、当館2階のライブラリーや神奈川県内の中学校・高校・図書館などでも閲覧することが可能です。博物館活動を知り、自然科学の分野に興味を持つきっかけとなれば幸いです。

Vol.13, No.4 通巻51号 (2007年12月15日発行)

- ・表紙「ハンス・オン展示」(奥野 花代子)
- ・「初声町三戸地区の谷戸の重要性」(瀬能 宏)
- ・「誰にもやさしい博物館」への取り組み ～「ユニバーサル・ミュージアム」を目指して～」(奥野 花代子)
- ・ライブラリー通信「自由のたびびと」(篠崎 淑子)
- ・「南米パタゴニアの火山」(平田 大二)

Vol.14, No.1 通巻52号 (2008年3月15日発行)

- ・表紙「黄金色のマジ」
(新江ノ島水族館 崎山 直夫・当館学芸員 瀬能 宏)
- ・「穴開き貝殻の穴の不思議 ～穴の位置はなぜ同じ?～」
(佐藤 武宏)
- ・「私の昆虫人生を振り返って」(高桑 正敏)
- ・展示シリーズ20「アカネズミ」(山口 佳秀)
- ・ライブラリー通信「楽しい図録」(篠崎 淑子)
- ・「メイキング・オブ『箱根火山』展(1)～資料収集編～」
(笠間 友博)

Vol.14, No.2 通巻53号 (2008年6月15日発行)

- ・表紙「悠久なる時間の発見～ハットンの不整合～」
(平田 大二)
- ・「さえずり上手は雌にモテモテ! 鳥の鳴き声の秘密」
(加藤 ゆき)
- ・「近代地質学の父、ジェームス・ハットンの足跡を訪ねて」
(平田 大二)
- ・「博物館や自然をもっと身近に! ～11コースのミニ観察会「学芸員とおさんぽ」」(石浜 佐栄子)
- ・ライブラリー通信「海を泳ぐウツの写真集」(篠崎 淑子)
- ・「メイキング・オブ『箱根火山』展(2)～展示準備編～」
(大島 光春)

Vol.14, No.3 通巻54号 (2008年9月15日発行)

- ・表紙「宇宙から見た箱根(衛星画像を使った鳥瞰図: 宙瞰図)」(新井田 秀一)
- ・「箱根を越えた西洋の博物学者 箱根の自然史研究のはじまり」(勝山 輝男)
- ・「境界線上で翻弄される箱根の魚たち」(瀬能 宏)
- ・「箱根の「けもの」」(広谷 浩子)
- ・「箱根の植物」(田中 徳久)
- ・「箱根の昆虫」(苅部 治紀)
- ・ライブラリー通信「カワセミに逢う」(篠崎 淑子)
- ・「メイキング・オブ『箱根火山』展(3)～展示趣向編～」
(山下 浩之)

Vol.14, No.4 通巻55号 (2008年12月15日発行)

- ・表紙「廃油と砂で作った箱根火山」(山下 浩之)
- ・「学芸員は博物館をつくら」(大島 光春)
- ・「ネパールの地質」(石浜 佐栄子)
- ・「アサリの「真珠」」(佐藤 武宏)
- ・ライブラリー通信「オホーツク海のアザラシ」(篠崎 淑子)
- ・「タヌキの遺体から考える」(樽 創)

Vol.15, No.1 通巻56号 (2009年3月15日発行)

- ・表紙「地質写真家がとらえた地球の姿～46億年 地球のしごと～」(写真:地質写真家 白尾 元理,文:平田 大二)
- ・「穴開き貝殻の穴の不思議～穴の位置はなぜ違う?～」
(佐藤 武宏)
- ・「丹沢の谷に大きなアナサングモドキ(ミレボラ)群体化石発見」(外来研究員 門田 真人)
- ・ライブラリー通信「高桑正敏の解体虫書」(篠崎 淑子)
- ・地質写真家と博物館のコラボレーション 企画展「46億年地球のしごと～地質写真家が見た世界の地形～」
(平田 大二)

Vol.15, No.2 通巻57号 (2009年6月15日発行)

- ・表紙「フクロウのすむ樹洞」(加藤 ゆき)
- ・「『玉砂舞榭(たまさぶらう)』をつくらう」(石浜 佐栄子)
- ・「樹洞探しの旅 ー特別展『木の洞(うろ)をのぞいてみた』に寄せて」(広谷 浩子)
- ・「木の立場から樹洞を考える」(勝山 輝男)
- ・ライブラリー通信「大英博物館」(大澤 澄子)
- ・「樹洞と虫たち ー珍品たちのすみかー」(苅部 治紀)

Vol.15, No.3 通巻58号 (2009年9月15日発行)

- ・表紙「『しんかい6500』から見た海底」(山下 浩之)
- ・「ワークショップ“貝殻みがき”を研ぐ」(田口 公則)
- ・「『しんかい6500』潜航記」(山下 浩之)
- ・ライブラリー通信「どうきばやし・おみやにいったらむしがいる」(尾越 佐緒里)
- ・「子どものための展示を考える」(大島 光春)

Vol.15, No.4 通巻59号 (2009年12月15日発行)

- ・表紙「『東海ナガレ』の色彩変異個体」
(山梨県立吉田高等学校 丸山 琢也,
山梨県立甲府東高等学校 奥山 誠一,
山梨大学教育人間科学部 宮崎 淳一)
- ・「箱根火山6万6千年前の大噴火と謎」(笠間 友博)
- ・「丹沢の夜の野生動物 ーセンサーカメラが写しだした生態ー」(外来研究員 若代 彰路)
- ・ライブラリー通信「チリモン」(大澤 澄子)
- ・「古瀬義氏 植物標本コレクション」(田中 徳久)

Vol.16, No.1 通巻60号 (2010年3月15日発行)

- ・表紙「丹沢の砂金」(石浜 佐栄子)
- ・「サブ活動が支える子ども講座 ー人類進化講座11年のまとめからー」(広谷 浩子)
- ・「悩ましいボウズハゼ類の色」
(株)環境科学研究所 荒尾 一樹, 神奈川県内水面試験場 山本 裕康, 当館学芸員 瀬能 宏)
- ・「台湾大学での「協議合作備忘録簽約儀式」報告」
(田中 徳久)
- ・ライブラリー通信「日本産クモ類」(尾越 佐緒里)
- ・「『パンニング』で砂を調べる」(石浜 佐栄子)

Vol.16, No.2 通巻61号 (2010年6月15日発行)

- ・表紙「枕状溶岩の新産地」
約1700万年前に海底を割って湧き出したマグマ」
(外来研究員 門田 真人)
- ・「カナダガン捕獲大作戦」(加藤 ゆき)
- ・「日本列島20億年 謎解きの旅」(平田 大二)
- ・「大磯層のサイの臼歯化石」(樽 創)
- ・ライブラリー通信「うち」(大澤 澄子)
- ・「丹沢山地の枕状溶岩」(外来研究員 門田 真人)

Vol.16, No.3 通巻62号 (2010年9月15日発行)

- ・表紙「アゴアマダイ」
(当館学芸員 瀬能 宏・静岡県伊東市 高瀬 歩)
- ・「標本づくりのプロっているの?ーいるんです、標本土です」(標本土 相川 稔)
- ・「神奈川のコムリを調べる」(外来研究員 山口 喜盛)
- ・ライブラリー通信「日本列島20億年 その生い立ちを調べる」(小林 瑞穂)
- ・「生物多様性研究の必要性と博物館の活動」
(大西 亘)

Vol.16, No.4 通巻63号 (2010年12月15日発行)

- ・表紙「魚とエビの集積～そこに化石が存在する理由を知るために～」(田口 公則)
- ・「私たちはなぜ集めるのか? 哺乳類標本の紹介から」(広谷 浩子)
- ・「標本画～その伝えるものとは～」
(生物画家 川島 逸郎)
- ・ライブラリー通信「鎌倉のクハラリス(タイワンリス)」
(大澤 澄子)
- ・「日本最初の植物同好会、横浜植物会の果たした役割」
(田中 徳久)

Vol.17, No.1 通巻64号 (2011年3月15日発行)

- ・表紙「ホシミイトンボ ー分布拡大の最前線ー」
(苅部 治紀)
- ・「傾斜量図 ～白黒で地形を表現する工夫～」
(新井田 秀一)
- ・「伊豆諸島青ヶ島の自然」(勝山 輝男)
- ・追悼 濱田隆士元館長
- ・「カニの脚」(佐藤 武宏)

Vol.17, No.2 通巻65号 (2011年6月15日発行)

- ・表紙「オサガミ」(樽 創)
- ・「菌類の戸籍簿をつくる ～ボランティアとの協働による『入生田菌類誌』～」(大坪 奏)
- ・「水中の虫たちのふしぎな世界」(苅部 治紀)
- ・ライブラリー通信「野山の鳴く虫図鑑」(小林 瑞穂)
- ・「さまざまな海岸環境と海岸に生える植物」(大西 亘)

Vol.17, No.3 通巻66号 (2011年9月15日発行)

- ・表紙「相模湾に潜る～JAMSTECの広報航海～」
(大島 光春)
- ・「箱根二子山の形成と謎」(笠間 友博)
- ・「南へ北へ! 旅をする鳥たち」(加藤 ゆき)
- ・「たまには海の上」(大島 光春)

- ・ライブラリー通信「大英自然史博物館の人々」(大澤 澄子)
- ・「東京湾のスナメリ」(樽 創)

Vol.17, No.4 通巻67号 (2011年12月15日発行)

- ・表紙「ホオベニオトヒメハゼ」
(静岡県三島市 御宿 昭彦・当館学芸員 瀬能 宏)
- ・「箱根火山と考古学 ～溶岩がつかぬ研究の輪～」
(山下 浩之)
- ・「魅力ある箱根ジオパークをめざして」(平田 大二)
- ・「植物の重複標本という考え方」(田中 徳久)
- ・ライブラリー通信「ずら～りカエルならべてみると…」
(小林 瑞穂)
- ・「特別展『およげ! ゲンゴロウくん』を振り返って」
(苅部 治紀)

Vol.18, No.1 通巻68号 (2012年3月15日発行)

- ・表紙「箱根火山外輪山溶岩の柱状節理」(笠間 友博)
- ・「バリア体験実習から見えてきたこと」(広谷 浩子)
- ・「きのこの形のふしぎ ー地下生菌への進化ー」(折原 貴道)
- ・ライブラリー通信「北九州高校 魚部」(大澤 澄子)
- ・「神奈川県昆虫相調査をふりかえって
～その驚くべき多様性と地域性～」(高桑 正敏)

Vol.18, No.2 通巻69号 (2012年6月15日発行)

- ・表紙「箱根火山外輪山溶岩(安山岩)の偏光顕微鏡写真」(山下 浩之)
- ・「秦野の天然砥石「戸川砥」から人の営みと自然の営みを見つめる」(田口 公則)
- ・「トンボの世界」(苅部 治紀)
- ・「花を見てみよう」(大西 亘)

Vol.18, No.3 通巻70号 (2012年9月15日発行)

- ・表紙「糸の造型『繭』」(川島 逸郎)
- ・「地球を調べる船の旅」(石浜 佐栄子)
- ・「海辺に生きるハチたちのくらし」(川島 逸郎)
- ・「箱根火山と地震」
(神奈川県温泉地学研究所 行竹 洋平)

Vol.18, No.4 通巻71号 (2012年12月15日発行)

- ・表紙「神山山腹の奇妙な地形 知られざる噴火の形跡?」(勝山 輝男・山下 浩之)
- ・「鳥類標本はどのように作られるのか」(加藤 ゆき)
- ・「ツキノワグマ出没の理由を探る」(小坂井 千夏)
- ・ライブラリー通信「虫のいい声」(坂井 陽子)
- ・「箱根火山と温泉」
(神奈川県温泉地学研究所 菊川 城司)

Vol.19, No.1 通巻72号 (2013年3月15日発行)

- ・表紙「植物・昆虫の標本画像データベース構築をめざして」(大西 亘)
- ・「博物館ちよこっと体験コーナー」(教育専門員 菅 尚子・加藤 友里江・柴田 美奈子・竹澤 美貴・丹野 利子)
- ・「植物収蔵資料のデジタル画像化」
(資料取扱員 熊谷 拓朗)
- ・「阿部光典ゲンゴロウ類コレクションのデジタル画像化」
(資料取扱員 佐野 真吾)
- ・「相模湾西部の海底地質調査報告」(山下 浩之)

Vol.19, No.2 通巻73号 (2013年6月15日発行)

- ・表紙「サクラダイ」(瀬能 宏)
- ・「スズメバチのあれこれ」(渡辺 恭平)
- ・「日本の原色魚類図鑑」(瀬能 宏)
- ・「相模湾沿岸の津波堆積物の調査」(神奈川県温泉地学研究所 金 幸隆)

Vol.19, No.3 通巻74号 (2013年9月15日発行)

- ・表紙「深海の造形の砂 渦巻く溶岩 ハイパードルフィンにて撮影」(KO-OHO-Oの会 藤岡 換太郎)
- ・「美味しい食べ物を作るカビー味噌蔵見学記～」
(大坪 奏)
- ・「相模湾のバイオ・ジオ・ダイバーシティー～KO-OHO-O航海の成果～」(KO-OHO-Oの会 藤岡 換太郎)
- ・ライブラリー通信「海辺の漂着物ハンドブック」
(小林 瑞穂)
- ・「博物館で、研究者なりきり体験～海洋コアを食べよう!～」(石浜 佐栄子)

Vol.19, No.4 通巻75号 (2013年12月15日発行)

- ・表紙「相模湾に現れたゴマフアザラシ」
(新江ノ島水族館 崎山 直夫)
- ・「骨の形から読み解く脊椎動物の進化」(松本 涼子)
- ・「多様性展示が新しくなりました!」(大西 亘)
- ・「ナンヨウボウズハゼ属の雌を水中で見分けよう」
(魚類ボランティア 熊澤 伸宏)
- ・ライブラリー通信「ある日のレファレンス記録」(新山 直子)
- ・「アンデスを越えて～パタゴニアの火山地質調査～」
(平田 大二)

Vol.20, No.1 通巻76号(2014年3月15日発行)

- ・表紙「ヒオウギ」(田口 公則)
- ・「鮮やかなヒオウギを配列して魅せる」(田口 公則)
- ・「鯨?海豚?河馬?海豚河馬?〜鯨偶蹄目ってなんだ?」(大島 光春)
- ・「奥村定一昆虫コレクション ―古い標本が語ってくれること―」(苅部 治紀・元非常勤学芸員 川島 逸郎)
- ・ライブラリー通信「科学しかえほん」(小林 瑞穂)
- ・「イルカの前肢で見えてくるもの」(樺 創)

Vol.20, No.2 通巻77号(2014年6月15日発行)

- ・表紙「日本にもあるよ! 大きな板根 ホルトノギ」(大西 亘)
- ・「名倉コレクション-ある貝類愛好家と貝類を取り巻く人びととの交流の証-」(佐藤 武宏)
- ・「タマムシをさがしてみよう!」(渡辺 恭平)
- ・特別展コラム「外来生物ってなんだろう」(加藤 ゆき)
- ／ライブラリー通信「全国博物館縦断! 図録の旅」(新山 直子)
- ・「日本初記録の絶滅した淡水生爬虫類(コリストデラ類)の化石」(松本 涼子)

Vol.20, No.3 通巻78号(2014年12月15日発行)

- ・表紙「箱根火山最大級の噴火の痕跡」(笠間 友博)
- ・「アメリカ西部の自然系博物館を訪ねて」(大島 光春)
- ・「消えたアカトンボ」(苅部 治紀)
- ・企画展「恐竜の玉手箱」
- ／ライブラリー通信「司書のお仕事 修理編」(小林 瑞穂)
- ・「自然史資料としての地層剥ぎ取り標本」(石浜 佐栄子)
- ・「ケンペルが採集した植物標本」(田中 徳久)

Vol.21, No.1 通巻79号(2015年6月15日発行)

- ・表紙「黄金色のヒラメ」(新江ノ島水族館 岩崎 猛朗)
- ・「生命の星・地球博物館における資料収集と評価の視点」(瀬能 宏)
- ・「博物館にまつわる数字(2)」(大島 光春)
- ・「地層の『剥ぎ取り』と『型取り』」(石浜 佐栄子)
- ・「湯河原が誇る石材“白丁場石”」(山下 浩之)
- ・ライブラリー通信「本の住所」(堀尾 璃紗)

Vol.21, No.2 通巻80号(2015年9月15日発行)

- ・表紙「フォッサマグナ発祥の地」(館長 平田 大二)
- ・「WEB 上の生物多様性情報を自然史研究に役立てる」(日本学術振興会特別研究員PD 宮崎 佑介)
- ・「オーストラリア南東部の自然系博物館を訪ねて」(大島 光春)
- ・「花粉熱―花粉症を初めて紹介した記録」(大坪 奏)
- ・「アメリカからやってきた河川地形の実験模型」(石浜 佐栄子)
- ・ライブラリー通信「ぎふちょう」(小林 瑞穂)

Vol.21, No.3 通巻81号(2015年12月15日発行)

- ・表紙「ダイオウホタルイカモドキ」(佐藤 武宏)
- ・「スガ属植物が作る『坊主たち』」(勝山 輝男)
- ・「ミニ企画展『いきもの探偵』を終えて」(IP-cgg 藤田 和宏)
- ・「きのこの標本・学名よもやま話」(折原 貴道)
- ・「サグヴァチェが神奈川県で採集した植物標本」(田中 徳久)
- ・ライブラリー通信「LOVE! キュッパ」(堀尾 璃紗)

Vol.22, No.1 通巻82号(2016年3月15日発行)

- ・表紙「シカによる過度の採食で変わり果てた森林」(渡辺 恭平)
- ・「ぬいぐるみ脳?抱っこ剥製? ―「教材標本」の活用について―」(広谷 浩子)
- ・「どこから見たのか? BAY OF WODAWARA」(新井田 秀一・瀬能 宏)
- ・「段丘地形を利用した酒匂川の水力発電〜人と地質学の接点〜」(田口 公則)
- ・「博物館のデジタルアーカイブ」(大西 亘)
- ・ライブラリー通信「司書のお仕事 蔵書点検編」(小林 瑞穂)

Vol.22, No.2 通巻83号(2016年6月15日発行)

- ・表紙「ダイヤモンド」(山下 浩之)
- ・「魅せる特別展『Minerals in the Earth ―大地からの贈り物―』」(山下 浩之)
- ・「根絶なのか? 特定外来生物カナダガン」(加藤 ゆき)
- ・「小田原城 御用米曲輪の地層と天守閣の位置」(笠間 友博)
- ・「恐竜時代へのタイムトンネル 〜桑島化石壁(手取層群 桑島層)〜」(松本 涼子)
- ・ライブラリー通信「ヒメハルゼミ(姫春蟬)の名付親・谷 貞子を探して」(土屋 定夫)

Vol.22, No.3 通巻84号(2016年9月15日発行)

- ・表紙「ムネアカハラビロカマキリ」(苅部 治紀)
- ・「新種!は収蔵庫からも見つかる 〜標本調査の楽しみ〜」(渡辺 恭平)
- ・「神奈川県の帰化植物率の変遷と分布」(田中 徳久)
- ・「植物の名前、どうやって調べる?」(大西 亘)
- ・ライブラリー通信「保育社の原色図鑑のお引越し」(小林 瑞穂)

Vol.22, No.4 通巻85号(2016年12月15日発行)

- ・表紙「関東地震で動いた巨石〜久野石の石切場跡〜」(田口 公則)
- ・「2016年度企画展『石展2〜かながわの大地が生み出した石材〜』」(山下 浩之)
- ・「どこ生まれのマンモスゾウ?」(樺 創)
- ・「高校と博物館の連携事例」(神奈川県立吉田島総合高等学校 高橋 晋太郎)
- ・「展示見学ポートフォリオづくりの講座実践」(田口 公則)
- ・ライブラリー通信「楽しいけれど、一筋縄ではいかない非流通資料の収集」(土屋 定夫)

Vol.23, No.1 通巻86号(2017年3月15日発行)

- ・表紙「モンガラカワハギ」(新江ノ島水族館 樋口 理紗・当館学芸員 瀬能 宏)
- ・「データベースに登録された維管束植物の標本数が30万点に達しました」(田中 徳久)
- ・「砂の性質を使ったおもちゃ」(石浜 佐栄子)
- ・「『始祖鳥展〜科学が芸術か』の紙上展示」(大島 光春)
- ・ライブラリー通信「ビデオブースが書庫になりました」(小林 瑞穂)

Vol.23, No.2 通巻87号(2017年6月20日発行)

- ・表紙「地球を『はぎ取る』」(石浜 佐栄子)
- ・「特別展 地球を『はぎ取る』〜地層が伝える大地の記憶〜」(石浜 佐栄子)
- ・「菌類の調査、いっしょにやりませんか? ―市民参加型の生き物調査の取り組み〜」(折原 貴道)
- ・「街中に残された哺乳類の貴重なすみか〜河川敷〜」(鈴木 聡)
- ・ライブラリー通信「文人たちの博物誌① 開高 健の巻」(土屋 定夫)

Vol.23, No.3 通巻88号(2017年9月15日発行)

- ・表紙「ムラソイの黄化個体」(瀬能 宏)
- ・「地域自然史博物館のデジタル・アーカイブ - 概要 -」(大西 亘)
- ・「ヒアリってどんなアリ? ―正しく恐れよう外来アリたち〜」(苅部 治紀)
- ・「県の石」(山下 浩之)
- ・「日本の海の自然を詰め込んだ箱庭・相模湾」(佐藤 武宏)
- ・ライブラリー通信「箱根のガイドブック」(小林 瑞穂)

Vol.23, No.4 通巻89号(2017年12月15日発行)

- ・表紙「トキ」(加藤 ゆき)
- ・「神奈川県レッドデータブック 2回目の改訂に向けて」(加藤 ゆき)
- ・「“地層バイキング”特別展「地球を『はぎ取る』」ワークショップ報告」(笠間 友博)
- ・「作って、読み解く“お天気おしましま” 特別展「地球を『はぎ取る』」で作った114日間の地層」(石浜 佐栄子)
- ・「維管束植物標本の特筆すべきコレクション」(田中 徳久)
- ・ライブラリー通信「文人たちの博物誌② 正岡 子規の巻」(土屋 定夫)

Vol.24, No.1 通巻90号(2018年3月15日発行)

- ・表紙「宇宙から見た東京〜神奈川」(新井田 秀一)
- ・「古民家で暮らすハチたちを調べて」(渡辺 恭平)
- ・「地域自然史博物館のデジタルアーカイブが目指すもの」(大西 亘)
- ・「大型冷凍庫リニューアル 〜「大整理」から得た指針とは?〜」(広谷 浩子)
- ・展示シリーズ21「レインボーアンモナイト」(田口 公則)
- ・ライブラリー通信「楽しいきのこの世界」(小林 瑞穂)

Vol.24, No.2 通巻91号(2018年6月20日発行)

- ・表紙「マグソクワガタ」(苅部 治紀)
- ・「『神奈川県植物誌2018』〜40年間の植物誌調査の成果〜」(田中 徳久)
- ・「小さな化石の大きな発見〜東アジア初の両生類アサノバペンコスの報告〜」(松本 涼子)
- ・「ドイツ南部とウィーン 自然史博物館を訪ねて」(大島 光春)
- ・ライブラリー通信「文人たちの博物誌③ 上村 淳之の巻」(土屋 定夫)

Vol.24, No.3 通巻92号(2018年9月15日発行)

- ・表紙「眠るツノトボ」(渡辺 恭平)
- ・「特別展「植物誌をつくろう! 〜『神奈川県植物誌2018』のできるまでとこれから〜」の見どころ+α」(大西 亘)
- ・「火山ジオパークと共に見てほしいプリニー式噴火の軽石層」(笠間 友博)
- ・「たくさん標本を集め、哺乳類の変異を研究し、普及する」(鈴木 聡)
- ・ライブラリー通信「骨格百科〜スケルトン〜その凄い形と機能」(小林 瑞穂)

Vol.24, No.4 通巻93号(2018年12月15日発行)

- ・表紙「ホソスグ」(勝山 輝男)
- ・「両生・爬虫類の標本工房」(松本 涼子)
- ・「日本に初めて打ち上げられたシロナガスクジラ」(当館学芸員 樺 創, 新江ノ島水族館 崎山 直夫, 当館学芸員 鈴木 聡, 国立科学博物館 田島 木綿子)
- ・「学芸員と標本士 ―鳥獣標本を継承する2つの人材―」(広谷 浩子)
- ・「博物館の来館者数を考えるー入館者700万人を迎えてー」(田口 公則)
- ・ライブラリー通信「文人たちの博物誌④ 遠藤 周作の巻」(土屋 定夫)

Vol.25, No.1 通巻94号(2019年3月15日発行)

- ・表紙「オーストンガニ」(佐藤 武宏)
- ・「どれだけ必要? ―資料のコレクションポリシーと収蔵庫〜」(瀬能 宏)
- ・「岩石薄片を簡単につくり観察する」(山下 浩之)
- ・「『神奈川県昆虫誌2018』ができました」(渡辺 恭平, 苅部 治紀)
- ・ライブラリー通信「リアルサイズ古生物図鑑 古生代編」(小林 瑞穂)

Vol.25, No.2 通巻95号(2019年6月15日発行)

- ・表紙「2018 臺中世界花卉博覧会(2018 台中フローラ世界博覧会)」(田中 徳久)
- ・「アオバトのふしぎ」(加藤 ゆき)
- ・「東アジアで初めて見つかった絶滅真無盲腸類の新種」(大島 光春)
- ・「神奈川県におけるムネアカハラビロカマキリの拡散状況とその移入経路」(苅部 治紀)
- ・ライブラリー通信「文人たちの博物誌⑤ 岡本太郎の巻 太陽の塔はカラスだった?」(土屋 定夫)

Vol.25, No.3 通巻96号(2019年9月15日発行)

- ・表紙「アオゾメクロツブタケ」(折原 貴道)
- ・「アオバトの足元にも注目! 〜照ヶ崎海岸周辺の地質・地形紹介〜」(石浜 佐栄子)
- ・「キアシドクガの大発生類末記」(相模原市立博物館 学芸員 秋山 幸也)
- ・「学芸活動に基づく自然史系博物館の事業評価に必要な視点」(瀬能 宏)
- ・ライブラリー通信「鳥類学者の目のツクドコロ」(小林 瑞穂)

Vol.25, No.4 通巻97号(2019年12月15日発行)

- ・表紙「擬態するヤモリ」(松本 涼子)
- ・「電子百科:宇宙から見た日本の衛星画像の紹介」(新井田 秀一)
- ・「大磯町西小磯海岸の“石切り場”跡の探究」(田口 公則)
- ・「スマートフォン用マクロレンズで冬芽観察をしよう!」(大西 亘)
- ・ライブラリー通信「文人たちの博物誌⑥ ゲーテの巻 ゲーテの趣味は石集めだった?」(土屋 定夫)

Vol.26, No.1 通巻98号(2020年3月15日発行)

- ・表紙「サフィリン金雲母岩」(山下 浩之)
- ・「大陸の誕生と分裂をさぐる」(山下 浩之)
- ・「復元図を起こす」(樺 創)
- ・「広域デフラについて」(西澤 文勝)
- ・ライブラリー通信「専門図書館探訪」(小林 瑞穂)

Vol.26, No.2 通巻99号(2020年6月25日発行)

- ・表紙「恐怖の外来種 クビアカツヤカミキリ」(渡辺 恭平)
- ・「カンボジアの水生昆虫調査」(苅部 治紀)
- ・「哺乳類の性的二型:イタチとゾウアザラシの意外な共通点」(鈴木 聡)
- ・「フレキシブルなダケカンパ」(石田 祐子)
- ・ライブラリー通信「文人たちの博物誌⑦ 小松 左京の巻 日本を沈めた男の生物学はSFではなかった!?」(土屋 定夫)